

ひまわり通信

11 平成 17 年 9 月 13 日
東青山小学校
児童数 651 人
(231)9611 fax(231)9623

いのち輝く子ども



<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/>

<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/i/> (携帯用)

E-mail h-aoyama@niigata-inet.or.jp

命に関わることは100点満点で

9日(金)に地域学校合同避難訓練がありました。午前中は、保護者・地域の方々を対象に「救急法・炊き出し講習」を行いました。救急法講習会では、日赤の五十嵐さんから人工呼吸法の仕方などについて具体的に指導をいただき、炊き出し講習会では坂井輪地区事務所の小畑さん他の協力によりアルファ米の炊き出しを見せてもらいました。アルファ米を実際に食してみても、大変おいしくてびっくりしました。



<平島消防団による放水訓練>

東青山小学校では、火災、地震、不審者を想定して年4回の避難訓練を実施しています。今回は3回目に当たり、地震を想定しての避難訓練でした。避難に要する時間は回を重ねるごとに速くなっています(5分8秒 4分34秒 4分19秒)。当校では、避難をするときの約束『お(押さない)は(走らない)し(しゃべらない)も(戻らない)て(低学年優先)』がありますが、そのことが守られたかを毎回確認しています。その際「70点や80点ではだめである。命に関わることは100点満点でなければならない。」と話をしています。このことについても、回を重ねるごとに多くの児童が100点満点をとれるようになってきました。大変うれしいことです。

今回は、保護者の協力により下校訓練を併せて実施しました。非常時には確実に、そして安全に児童を自宅まで帰宅させる必要があります。ご都合で保護者が来られない児童は教師が引率しました。滞りなく、全員が帰宅でき喜んでおります。



す。お願いいたします。お力ください。お願いいたします。す。

新潟市教育委員会では、健康増進法の施行を受け、受動喫煙による子どもたちの健康被害をなくすとともに、喫煙防止教育の一層の推進を図る上から、学校・園の敷地内全面禁煙を勧めます。当校でも、その方針に沿って、平成十七年十月十一日(後期開始日)から、学校及び敷地内全面禁煙を実施することとしました。学校の教育活動及び地域行事や学校開放など校舎やグラウンド等を使用する場合は、すべての人を対象として実施いたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。なお、子どもたちの健康を守るためにも、ご家庭において分煙に協力をお願いいたします。

敷地内全面禁煙の実施について

子どもセーフティ・スタッフについて

7月22日の全校朝会において、今年度お世話になる18人のセーフティ・スタッフの皆さんを全校児童に紹介いたしました。また、児童代表6年生の中條智佳さんからのお礼の言葉や全校児童へのあいさつなどについての話がありました。その後、会議室でスタッフの皆さんと情報交換をしました。その時の主な内容については下記のとおりとなっています。18人の皆さんは安心・安全な地域づくりに強い思いがあり、大変心強く感じました。

今後ともよろしく願いいたします。



子どもセーフティ・スタッフの皆さん（申し込み順）

佐々木さん	佐々木さん
関根さん	長島さん
宮尾さん	小柳さん
小山田さん	村山さん
風間さん	松沢さん
加藤さん	大期さん
堀さん	橋本さん
柿倉さん	石塚さん
長川さん	山口さん

セーフティ・スタッフの申し込みは随時受け付けております。

(1) 「こども110番の家」について

- ・ 表示が目立たない。プレートを大きくするなど、もっと目立つ対策が必要である。
- ・ 集団下校の折などに「110番の家」を確認させるようにした方がよい。
- ・ 町内から学校までに「110番の家」がない。他地域では多くあって、バランスが悪い。
- ・ 「110番の家」に限らず、近くの家へ逃げるような指導をした方がよい。

(2) 子どもたちの様子

- ・ 「ありがとうございます。」「ご苦労さまです。」と声をかけてくれる子どもがいる。
- ・ 「おはようございます。」と元気よくあいさつをしてくれるようになった。
- ・ 顔を覚えてもらったせいか、最初はあいさつが返ってこなかったが、だんだん返してくれるようになった。
- ・ 道路を横に広がって歩行する子どもがいたので注意した。
- ・ よくない行動をしている意識があるのか、スタッフの姿を見て逃げる子どもがいた。

(3) その他

- ・ PR不足なのか、地域住民にあまり知られていないのではないかと。
- ・ 町内によってスタッフの人数に偏りがある。
- ・ 若いお母さん、年配の方からも「ご苦労様です。」と声をかけてくれるようになった。また、声をかけてくれる高校生男子もいる。
- ・ 自分の健康と、子供たちの安全を守るといふことでがんばっている。